

こまえ

平成24年(2012年)9月
通巻第55号

図書館だより

ホームページアドレス <http://www.library.komae.tokyo.jp>
モバイル版アドレス <http://mb.library.komae.tokyo.jp>



— 今号のトピックス —

1. 利用制限について
2. よくある質問から
3. 数字で見る図書館 2011
4. 行事報告・文学散歩
5. 今後の行事予定

sim miki

返し忘れている本はありませんか？

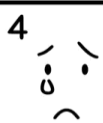
— 返却期限を守りましょう！ —

図書館・図書室の資料は、市民の皆さまの貴重な共有財産です。

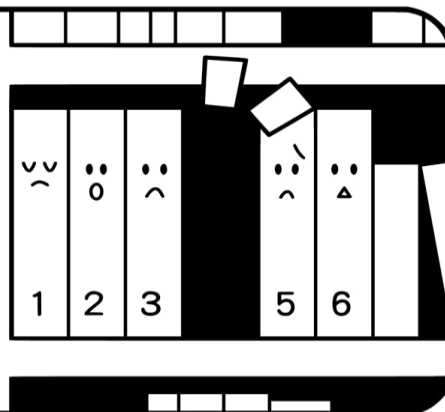
限られた資料を多くの方に有効活用していただくため、返却期限をお守りくださいますようお願いいたします。貸出期間中に読み終わらない場合には、一度だけ返却期限日から2週間を延長することができます。ただし、次に予約している方がいらっしゃる時には延長はできませんのでご了承ください。

また、期限を過ぎた資料について返却をお忘れの方には、電話やハガキによる督促の通知*をしています。特定の資料をひとりの方が占有し続けることは他の皆さまに多大な迷惑をかける行為です。通知を受け取った方は、速やかにご返却いただき、次の方にも気持ちよくご利用いただけますようご理解とご協力をお願いします。

* 督促通知のハガキには、皆さまの読書記録の情報保護のため、貸出資料名を記載していません。ご不明の場合には、ご自身で図書館ホームページからご確認くださいか、図書館にお問い合わせください。



なお、この通知と行き違いで返却がお済みの場合には、どうぞご容赦ください。



⇒関連の重要なお知らせが2ページにあります。

※音訳版（カセットテープ・デージー）もあります。ご希望の方は中央図書館にお問い合わせください。

【図書館資料の長期延滞者に対する利用制限について】

狛江市立図書館では、このたび、図書館資料を長期間延滞している方に対し、「利用制限」を設けることといたしました。該当する方については、**平成24年10月1日から新たな資料の利用（館外貸出）及び資料への予約を停止**させていただきます。

市民の財産である資料を、どなたにも気持ち良くご利用いただくためにご理解・ご協力をお願いいたします。

【利用制限に関する手順】

- ・制限に該当する方に、図書館から通知（ハガキ）を送付いたします。
内容は、「資料をお返しく下さい」（督促）と「返却されない場合は、新たな貸出と資料への予約を停止します」（利用制限通知）です。
- ・利用制限中の延滞者には、貸出中の資料が返却されるまでの間、再通知ハガキの送付もしくは電話連絡をいたします。



延滞資料が返却された後は、通常どおりご利用いただけますので、利用マナーの向上のため、皆さまのご協力をお願いいたします。

〔利用停止の条件〕

- ① 貸出期限の翌日から30日を超えてもご返却いただけない場合
- ② 貸出資料を汚損もしくは破損（水ぬれ、破れ、汚れ、書き込み、切り抜き等）または紛失したにも関わらず弁償（代物または代価）していただけない場合
- ③ その他、館長が必要と認めた場合

〔利用停止の期間〕

- ① 延滞資料をすべて返却していただくまでの期間
- ② 弁償（代物または代価）を完了していただくまでの期間
- ③ 館長が過去の貸出資料の返却状況等を考慮したうえで決定した14日以上

〔利用停止の解除〕

- ① 延滞資料をすべてご返却いただいた場合
- ② 弁償を完了していただいた場合
- ③ その他、館長が解除することを適当と認めた場合

上記は、平成24年10月1日施行の「狛江市立図書館資料貸出停止要綱」に基づいて実施いたします。

よくある質問から



★なぜ、返却期限の延長は1度しかできないの？

返却期限までに読み終わらない場合は、1度だけ継続して、もう2週間延長することができます。このことについて「一旦返してから、すぐに借り直せば同じことでしょうか？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ですが、もしこのきまりがなかったとしたら、延々と再貸出を繰り返して、同じ本を占有することができてしまうのです。図書館を利用されるすべての方が、公平に貸出の機会をもてるように、同じ本の連続貸出はご遠慮いただいています。

★書店に並んでいる新刊の本や新聞広告で見た本は、いつ頃、図書館に入るの？

新刊本が入荷するのは、早くても発売日から3週間ほど後になります。

図書館にはまず新刊情報が、週1回、発売からおおむね1～2週間経過した本について順次届きます。書店と違って時間のかかる理由は、図書館の資料として登録・管理するのに必要なデータ（分類番号、本の大きさ、ページ数、内容紹介等）を発売された本1冊ずつについて専門の業者が作成し、その情報と一部の現物を元に図書館で選書会議を行うためです。購入本を選定し注文手続きをとった後、図書ラベルを貼ってフィルムコートし、データ登録して納品されるまでにはさらに1週間かかります。本によっては1カ月以上かかることもあります。また、利用の多い本は常に貸出中となり、図書館の書架で見かけるのはずいぶん後になるかもしれません。人気作家の新刊などは特に予約が混み合いますが、どうぞ気長にお待ちください。

図書館こんな時は・・・



録音図書のご案内

「がん」という診断を受けた時、現在の病状や今後の治療方法、手術に関する医師からの説明は、専門用語が多く使われるために、患者にはわかりづらいものと言われています。肺がんを専門にしている医師二人が、病院の選び方や抗がん剤に関する情報、治療費に関する事項などをわかりやすく解説しています。

(収録時間：5時間8分)

『がん治療を受ける前に
知っておきたい55のこと』

土屋 了介／著，奥仲 哲弥／著
エクスナレッジ

2010年 ジャンル：医学

※この録音図書は、DAISY版のみ所蔵しています。通常のCDプレイヤーでは再生できません。詳しくは中央図書館にお問い合わせください。

平成 24 年度の主な取り組み

祝日開館の試行（中央図書館）

今年度は下記の 4 日間を開館します。

4 月 29 日（日）、30 日（月）

11 月 3 日（土）、11 月 23 日（金）。

狛江市子ども読書活動推進計画の策定

狛江の子どもたちが読書活動に親しむことによって豊かな人間性を育むとともに、読書を通して家庭と地域の教育力の向上を図るため、国や都の計画を参酌して、今後 5 年間の推進計画を策定します。

利用支援サービスの充実

「すべての人にすべての図書館サービスを！」をコンセプトに、新たな取り組みとして高齢者施設への出張サービスを試行します。大活字本の貸出やおはなし会等を行います。

図書館ホームページのリニューアル

誰にとっても利用しやすいホームページを目指し、図書館利用向上のためのコンテンツの改善を行います。

このほか、前年度に引き続き、さまざまな図書館サービスに取り組んでいきます。

平成 23 年度を振り返って

昨年は、東日本大震災や台風 12 号による大被害など自然の猛威の前に、人間の無力さを痛感させられました。しかし、家族や人との絆の大切さにも気づかされた年でもありました。また、電力危機による館内一部消灯、冷暖房の設定温度変更等の節電に、利用者の皆さまにはご協力をいただき、ありがとうございました。

事業概要

平成 23 度の図書館の取り組みについて顧みますと、総務省より交付された「住民生活に光を注ぐ交付金」の一部が図書購入費として活用され、この交付金で 2,454 冊の図書を購入いたしました。

読書推進事業では、ノンフィクション作家で評論家の柳田邦男氏を講師に迎え、講演会を開催し、多くの方にご参加いただき、この講演会を受けて「大人のための絵本の会」を開催いたしました。また、文学散歩では、旧白洲邸・武相荘と岡本太郎美術館を訪れました。狛江市文化財専門委員の井上孝氏による「狛江市文化財散歩」では、写真集「写真で見る昭和の狛江」に掲載されている場所を訪れました。

親子読書推進事業では、子どもの読書活動推進に関わりのある方を対象とした「児童行事実

技講座」を開催し、小学校などで読み聞かせを行っている P T A ボランティアの方にも参加をいただきました。

赤ちゃん絵本をひらくことの楽しさや大切さを伝え、絵本をプレゼントするブックスタート事業においては、昨年の 9 月から健診会場で図書貸出券の発行を始め 165 人の赤ちゃんが登録をしました。

東京都の緊急雇用創出事業の補助金を活用して、写真集「写真で見る昭和の狛江」に寄せられた写真等のデジタル化を行い、今年 7 月にリニューアルいたしました図書館のホームページに掲載し、一部閲覧できるようになっています。ぜひご覧ください。

図書館ボランティアの育成では、音訳者講習会を受講した方の中から音訳グループが立ち上がり今年度から活動しています。その他、小学生を対象とした「科学あそび教室」、「子ども一日図書館員」、定例行事の「子どもおはなし会」、「親子で楽しむおはなし会」や小中学生を対象に「職場体験」、「図書館見学」等の受け入れや学習支援のために学校図書館への資料貸出、定期配送便の運行等の市内の小中学校との連携に取り組んでいます。今年度も、昨年同様図書館サービスの向上に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

平成 23 年度（平成 24 年 3 月 31 日現在）の数字から利用状況をご紹介します。

◆蔵書冊数（冊）：市内全体で 297,512 冊です。

	中央館	野 川	上和泉	岩 戸	南 部	西河原
一般書	132,389	12,092	15,578	11,348	10,144	22,199
児童書	41,689	9,737	9,012	8,875	10,351	14,098
合 計	174,078	21,829	24,590	20,223	20,495	36,297

◆登録者数（人）

	中央館	野 川	上和泉	岩 戸	南 部	西河原
一般	20,036	1,409	1,074	1,321	1,421	1,942
児童	2,455	389	312	265	298	635
合 計	22,491	1,798	1,386	1,586	1,719	2,577

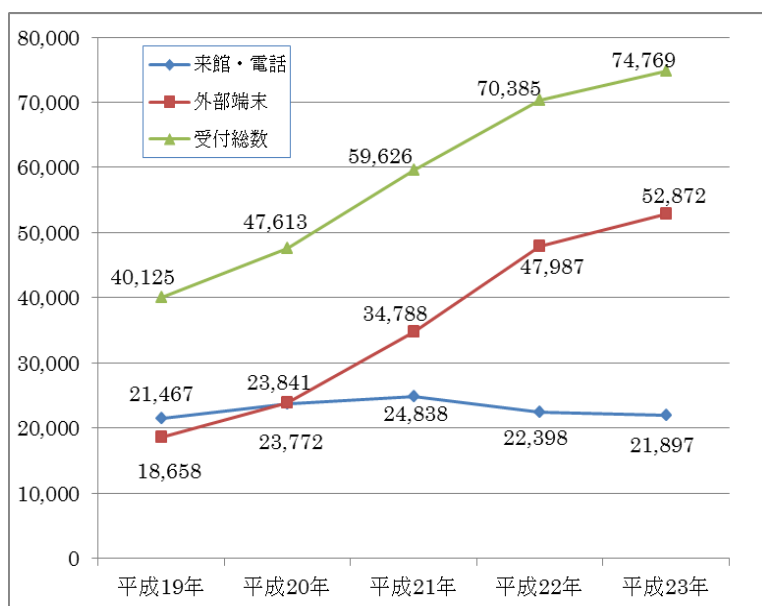
◆個人貸出（冊）：貸出数は 1 日平均約 1,638 冊！

一般書	児童書	雑 誌	合 計	1 日平均
315,689	171,930	30,894	518,513	1,638

◆予約受付数の推移（件）

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
来館・電話	21,467	23,772	24,838	22,398	21,897
外部端末	18,658	23,841	34,788	47,987	52,872
受付総数	40,125	47,613	59,626	70,385	74,769

※外部端末…インターネットや携帯電話を利用した図書館ホームページからの予約受付



スマートフォンの普及などにより、図書館ホームページからの外部予約は着実に増加しています。一方で来館・電話による受付件数に大きな変化がみられないのは、出版されたばかりの新刊や市内に所蔵がない本は、予約申込書による受付のみであるためだと思われます。

【お願い】

予約資料が用意できた際に、すでにお手元で利用中の資料と合わせて上限冊数を超える場合には、追加貸出しはできませんのでご注意ください。2 週間 8 冊以内での利用をお願いします。



リニューアル!

図書館ホームページをぜひ、ご活用ください。

平成24年7月4日から、図書館ホームページがリニューアルしました。これまでの蔵書検索機能に加え、施設案内や各サービス案内を充実し、どなたにも親しんでいただけるようなページ作りを心がけています。他に「アルバム昭和の狛江」や「図書館データバンク」「こどもページ」などを新たに特設しましたので、どうぞご利用ください。（ホームページアドレス <http://www.library.komae.tokyo.jp/>）



「利用者メニュー」って、何ができるの?

利用者番号（図書貸出券の6桁の数字）とパスワードを入力すると、次のことがご自身で確認したり、設定したりできます。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ➤ パスワードの変更 | 登録されているパスワードの変更が行えます。 |
| ➤ Eメールアドレスの変更 | 登録されているEメールアドレスの変更が行えます。 |
| ➤ 貸出中一覧 | 現在貸出中の資料の一覧が閲覧できます。 |
| ➤ 予約中一覧 | 現在予約中の資料の一覧が閲覧できます。 |
| ➤ 予約確保一覧 | 予約で準備ができた資料が閲覧できます。 |
| ➤ お気に入り一覧 | お気に入りに登録した資料の一覧が閲覧できます。 |

※パスワード未登録またはお忘れの方は、利用者番号入力画面の左・サブメニュー内「新規パスワード登録」から任意のパスワードを設定してご利用いただけます。

◇行事報告・文学散歩◇

新田次郎ゆかりの地と 小池邦夫絵手紙美術館を訪ねて



富士吉田市立
富士山レーダードーム館

小説家の新田次郎は、気象台職員として富士山気象レーダーの建設にも尽力しました。現在では富士山レーダードームはその働きを終えています。体験学習施設となっています。

今年は新田次郎生誕 100 年です。今回の文学散歩では、この施設と隣接の美術館を見学しました。

7月11日（水曜）に実施した文学散歩は、多数の応募者の中から抽選で29人の方にご参加いただき「富士吉田市富士山レーダードーム館」「小池邦夫絵手紙美術館」「岡田紅陽写真美術館」を訪ねました。当日は天気が良く、現地までの道のりもスムーズに到着しました。

はじめに富士吉田市立富士山レーダードーム館で、新田次郎関連の展示・ドーム建設に関する記録上映や富士山頂環境体験などを個々に見学しました。施設内の窓からは、くっきりとした富士山が大きく見え、その姿に皆さん目を見張りました。

昼食後、小池邦夫絵手紙美術館では、1時間ほど実際に絵手紙の体験をしました。自分自身でかいた後に展示作品を鑑賞したことで、さらに興味が深まったと思います。参加者アンケートの中に、なかなか1人では行きにくい場所の訪問や体験ができてよかった、という感想が多く寄せられました。

今回参加いただけなかった皆さまには残念でしたが、今後の機会をお楽しみに、またぜひご応募ください。



小池邦夫絵手紙美術館にて
絵手紙体験の様子

中・高校生の皆さんへ
YA担当よりお知らせ!

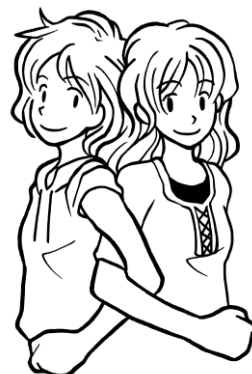
★おすすめ本を募集しています★

図書館では、中学・高校生を中心とした10代の人たちをYA（ヤングアダルト）と呼んでいます。

現在、YAのあなたがおすすめる本を募集中です!

中央図書館のYAコーナーにある「投稿用紙」に書いて投稿BOXに入れてください。イラストつきも大歓迎! ただし、黒ペンで描いてね。

締め切り:平成24年10月末日まで(延長しました!)



今後の行事予定

児童行事実技講座 「読み聞かせ入門」(仮)

小学生に本の読み聞かせやストーリーテリングを行う人のための入門講座です。

日時:11月14日(水)・15(木)
午前10時~正午

対象:市内在住の方、20人程度

講師:尾野三千代氏
(和光大学非常勤講師)

読書推進事業 『利用支援サービスの可能性』(仮)

公立図書館でさまざまなサービスを展開してきた山内氏にお話していただきます。

日時:12月8日(土)
午後2時~4時

定員:40名

講師:山内薫氏
(墨田区立あずま図書館勤務)

リサイクル図書の無料配布

図書館で不用になった図書資料や保存年限を終了した雑誌などを払い出し、リサイクル図書として、市民の皆さんに配布いたします。

11月17日(土)・18日(日)
午前10時~午後4時
中央公民館・地下ホールにて

※各行事の詳細は、図書館ホームページや館内のお知らせ・「広報こまえ」等をご確認ください